

全国及び県学力学習状況調査の気になる問題！(中学校編)

4月22日に全国学力・学習状況調査と佐賀県小・中学校学習状況調査が小学5年生～中学3年生を対象に実施されました。この調査は子どもたちの学習内容や学習に対する意識等を把握分析し、その課題改善に役立てるものです。西部教育事務所として特にクローズアップしたいのは全国調査のB問題と言われる、主として「活用」に関する問題です。今回は、どのような問題が出題されているのかを見てみましょう。

平成26年度全国学力・学習状況調査 中学校数学B1より
 日常的な事象（教室の配置の様子や校舎を外から見た様子を平面上に表した図）を考察する問題が出題されました。この中の(3)では事象を理想化・単純化し、その結果を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力を必要とします。空間における図形の性質に基づいて、問題解決の方法を説明することについて問われるのは、今回が初めてです。すべての先生方に問題を見てもらい、学習指導の改善につなげていただくよう、お願いいたします。



1 第一中学校では文化祭の準備をしています。実行委員の健太さんは、来客用のはり紙やパンフレットを作ったり、校舎に横断幕を取りつけたりします。

図1は校舎の1階と2階の案内図です。

図1

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 図1の掲示板上、美術室への経路を示すはり紙を掲示します。そのはり紙が、下のアからエまでの中にあります。正しいものを1つ選びなさい。

ア 作品展覧会(美術室) イ 作品展覧会(美術室) ウ 作品展覧会(美術室) エ 作品展覧会(美術室)

知ってますか？【学力向上のための手びき】

学力向上だよりでは、「子ども主体の考える授業」を組み立てる『西部型授業』の内容をより具体的に伝えるためにシリーズで連載していく予定です。**学力向上のための手びき**は平成25年度に各学校へ配信をしていますが、**西部教育事務所HP**から簡単にアクセスすることができるようになりました。必要な部分、または一括でダウンロードができるようにしましたので、印刷していただき、これからの授業にご活用ください。

学校教育の充実のために

西部教育事務所

ホームページのここをクリックしてください。ダウンロードも簡単にできます！

学校が始まって1か月たちました・・・

平成26年度がスタートして約1か月が経ちました。学級内の様子はどうですか？忙しい日々ですが、この時期に授業規律や学習態度がきちんと確立していることは重要なことですね。授業技術を磨くと同時に子どもたちが安心して学べる環境を整えることが学力向上につながります。右表のチェックシートで振り返ってみましょう。

ふりかえり5項目チェック

- 教科書・ノートなど授業に必要な道具を机の上に準備している。
- 筆箱の中身は(学級の)約束で決められたものを用意している。
- 授業開始などの時間を守っている。
- 机にきちんとついて席離れをせずに授業を受けている。
- 発言や質問をしている人(先生・友達)の話をよく聞いている。

是非、アクセスしてみてください！(※西部教育事務所のホームページにもリンクを貼っています)

平成26年度全国学力学習状況調査問題：国立教育政策研究所 HP より <http://www.nier.go.jp/14chousa/14mondai.htm>